

**茨城大学大学院理工学研究科脱炭素社会のための  
量子線マテリアル創造フェローシップ奨学生募集要項（2021年度）**

本学に入学した博士後期課程学生で、経済的援助を必要とし、かつ、学業成績優秀な者を対象として、下記のとおり奨学生を募集します。

1 奨学金（主に生活費）192万円                      研究費      58万円

採用人数      6名

2 応募資格

本学理工学研究科博士後期課程に2021年に入学した者および、次に掲げる者

- 1) 社会人ではない者
- 2) 日本学術振興会の 特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではない者
- 3) 研究活動の状況を定期的に茨城大学大学院理工学研究科SDGs, 脱炭素社会のための量子線マテリアル創造フェローシップ実施委員会（仮称）（以下、実施委員会）に報告し、指導教員グループから選出されるメンターによる面談を定期的に受けることができる者
- 4) 奨学生の計画している研究について、実施委員会が指定する研究分野である者
- 5) 令和3年4月1日時点で30歳未満である者。ただし、出産、育児等ライフイベントを経て30歳以上の者については、A4サイズの任意の用紙（要署名）に理由を書いたうえで事前に指導教員を経由して担当部署まで連絡を行うこと
- 6) 奨学生応募の時点で学会発表2回以上、学術雑誌（査読付き）論文発表1編以上、表彰1回以上のいずれかを満たしているか、それと同等であると実施委員会から認められた者
- 7) ティーチングアシスタント（TA）およびリサーチアシスタント（RA）に従事せず研究に専念できる者

3 申請書の提出期限

2021年3月12日（金）      15時

4 申請書の提出先

理学部学務グループおよび工学部学務グループ

5 審査方法

申請書及び面接（プレゼンテーション10分＋質疑応答10分）により審査する。

面接では以下の点を審査する。

- 後期課程で学びたいこと、身につけたいこと
- 研究計画の内容（目的、手法、特色、など）
- 研究計画に関連する口頭試問
- 研究分野の適合性

各100点    合計400点

6 面接日      3月15日9～12時、15～16時    3月16日9～12時、14～16時  
                 3月17日9～12時、14～16時    から希望をとり、実施する

7 発表      3月下旬（予定）

8 奨学金の支給

奨学金：月1回支給予定（毎月17日または月初支給予定）

研究費：5月一括配分

9 支給の取消

- 1) 退学又は除籍となったとき。
- 2) 死亡又は行方不明となったとき。
- 3) 申請書の記載に虚偽があったとき。
- 4) 課程を3年間で修了できる要件に達しなかったとき又は早期修了したとき。
- 5) 応募資格の履行状況が不十分と認められたとき。
- 6) 懲戒処分を受けたとき。
- 7) 実施委員会が成業の見込がないと判断したとき。
- 8) 奨学生本人から辞退の申出があったとき。
- 9) その他学長が奨学金の給与が不適当と認めたとき。  
※上記により支給の取消があった場合は、支給した奨学金の全部又は一部を返納させることがあります。

10 その他注意事項

- 1) 奨学生は、研究成果等の報告書を作成願います。メンターと面談をしたのち、指導教員グループに研究成果報告を行ってください。報告書の提出期限は毎年2月末です。
- 2) 入学科・授業料免除とこの奨学金を重複して申請することは可能です。
- 3) 他の奨学金の申請をする場合は必ず事務窓口までお申し出ください。
- 4) 学内の奨学金は応募できません。

11 選考委員会が指定する分野

マテリアル分野

20 年 月 日  
yyyy mm dd

茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程  
脱炭素社会のための茨城大学量子線マテリアル創造フェローシップ奨学生申請書

国立大学法人 茨城大学長 殿

申請者

専攻名 \_\_\_\_\_ 科学専攻  
ふりがな \_\_\_\_\_  
氏名 姓 名 ミドルネーム 押印(または署名)印  
生年月日 (西暦) \_\_\_\_\_ 年 月 日  
指導教員名 \_\_\_\_\_  
連絡先 (自宅) \_\_\_\_\_ (携帯電話等) \_\_\_\_\_  
E-Mail \_\_\_\_\_

※専攻名、指導教員名等は博士後期課程入学後の情報を入力ください

1. 学会発表・論文発表・表彰歴等

学会発表・論文発表・表彰等	備考

※多数ある場合は別紙をご利用下さい。

2. その他 確認事項(□にチェックをしてください。)

- 私は、社会人ではありません。
- 私は、日本学術振興会の 特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではありません。
- 私は、指導教員グループから選出されるメンターによる面談を定期的に受け、研究活動の状況を指導教員グループに定期的に行うことができます。
- 私は、令和3年4月1日時点で30歳未満、または出産、育児等ライフイベントを経た30歳以上の者については、博士
- 後期課程脱炭素社会のための茨城大学量子線マテリアル創造フェローシップ実施委員会の議を経て、配慮受けています。
- 私は、令和3年4月1日時点で日本国内に居住しています。

上記記載事項に相違ありませんので、指導教員作成の「茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程脱炭素社会のための茨城大学量子線マテリアル創造フェローシップ奨学生推薦書」および最終学歴の成績証明書を添えて、申請いたします。

## 3. 学術論文及び表彰歴等

学会発表・論文発表・表彰等	備考

## 4. 希望面接日時

希望する時間にマルをつけてその隣に第一希望の場合は1と番号を付け、第三希望まで記載をお願いいたします。  
面接時間は20分程度です。(記入例: 3月15日 9~12時 ①)

3月15日	9~12時	15~16時
3月16日	9~12時	14~16時
3月17日	9~12時	14~16時

茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程  
脱炭素社会のための茨城大学量子線マテリアル  
創造フェローシップ奨学生推薦書

国立大学法人 茨城大学長 殿

1. 申請者氏名

理工学研究科	専攻		
学生氏名 Name	姓	名	ミドルネーム

※専攻名等は博士後期課程入学後の情報を入力ください

2. 推薦理由

20 年 月 日  
yyyy mm dd

上記のとおり推薦します。

指導教員

氏名

印または署名

---

# 研究計画書

## Research Plan

No.

専攻名	
主指導教員	
氏名	

本紙は提出前に必ずコピーを取り、大切に保管してください

--

茨城大学大学院理工学研究科  
The Graduate School of Science and Engineering, Ibaraki University

埋まりきらない場合は本様式をコピーして使用すること